

誰もが親しめる観光案内窓口をめざして・・・

“現場からはじめよう！”

第2回 ^{アイ}i センター交流会プログラム

開催日時：平成15年11月11日（火）～12日（水）

場所：黒松内iセンター／黒松内歌才自然の家

11日（火）

12:30 集合：道の駅「トワ・ヴェール」

現地視察：黒松内iセンター

案内者：黒松内ブナの里振興公社マネージャー：佐藤氏

・・・・・・・・・・ 歌才自然の家へ移動・・・・・・・・・・

13:30 講習会

開会・挨拶：後志観光連盟事務局

13:35 意見交換会

目的：より多くの観光客に立ち寄ってもらえる観光案内所となるためにスタッフ自らができることを考える。

内容： 実験を通して感じたことを整理しよう
スタッフ自らできることを考えよう

各グループ発表

まとめ

15:20 休憩

15:30 技術講習会

目的：魅力ある地域だより作成のための基本的な考え方、テクニックを習得する。

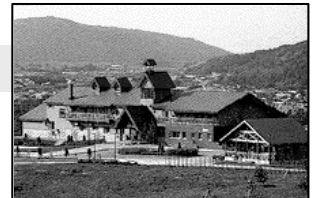
内容： 地域だより作成の基本的な考え方
フォトショップ等を使った画像編集テクニック

16:30 全体討議

17:00 iセンターラリー抽選会

17:30 閉会

歌才自然の家



大谷料理長より

黒松内らしさを感じられる料理をつくってお待ちしています！お楽しみに！！

会場となる「歌才自然の家」は・・・

歌才自然の家は、牧歌的風景の中、国の天然記念物『歌オブナ林』や運動公園などの自然を楽しみながら、人と人が心ゆたかに交流するコミュニケーションの場としてつくられました。

季節感ある食事と、野外レクリエーションを楽しむファミリーや学校の児童生徒の研修など、四季を通じて多くの方々にご利用されています。

11日(水)

9:30

歌才自然の家出発

町内観光施設見学

【歌オオートキャンプ場「ルピック」】



白樺などの広葉樹に包まれ、自然の中で気ままに過ごしたい、というアウトドア派に人気の高いオートキャンプ場。2.2haの広いフィールドには、テントサイトとバンガローが、ゆったりと配置されていて、お隣り同士がねなく過ごすことができます。

愛称の「L'PIC(ルピック)」は、フランス語でキツツキという意味です。

【ブナセンター】



雄大な自然を背景に、北欧風のスタイルと、とんがり屋根がアクセントの「ブナセンター」。ブナを中心に町の歴史や自然を紹介しています。自然観察の方法や動物・植物に関する情報のほか、木工房と陶工房、食工房などの体験スペースもあり、黒松内ならではの楽しいひとときを過ごすことができます。

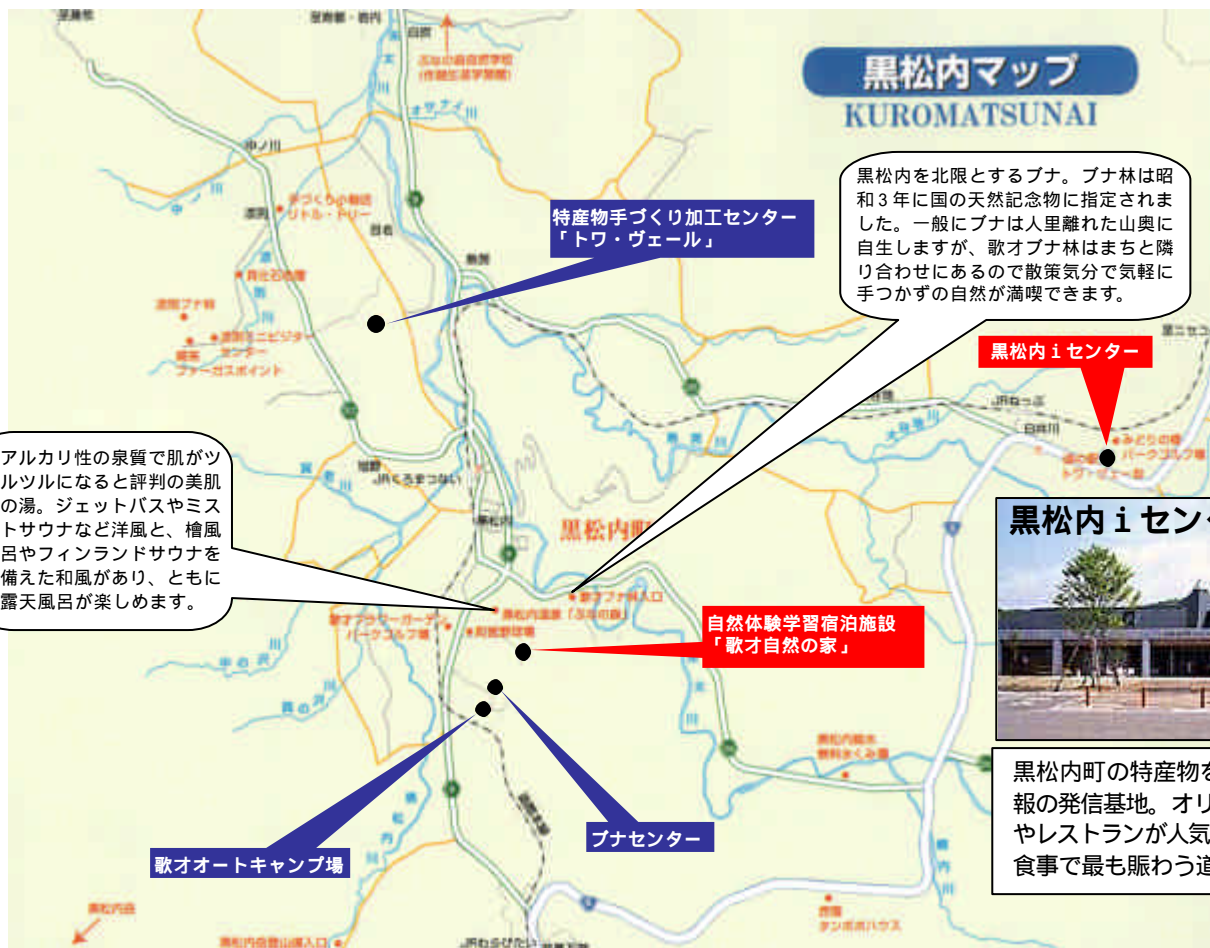
【トワ・ヴェール(加工センター)】



チーズ、ハム、ソーセージ、アイスクリームなど黒松内町の新鮮な素材を使い、こだわりにこだわりを重ねて納得のいく、自信の逸品を集めました。みなさまが「大自然のおいしさ」に出会っていただくところです。お土産に是非！

12:00

解散



アルカリ性の泉質で肌がツルツルになると評判の美肌の湯。ジェットバスやミストサウナなど洋風と、檜風呂やフィンランドサウナを備えた和風があり、ともに露天風呂が楽しめます。

黒松内を北限とするブナ。ブナ林は昭和3年に国の天然記念物に指定されました。一般にブナは人里離れた山奥に自生しますが、歌オブナ林はまちと隣り合わせにあるので散策気分が気軽に手つかずの自然が満喫できます。



黒松内町の特産物を一同に集めた情報の発信基地。オリジナルパンの販売やレストランが人気の、休息、土産、食事で最も賑わう道の駅です。

i センター交流会概要

現地視察（11日 12:30～）

左端から2人目が黒松内iセンターを案内してくれた佐藤マネージャー。ありがとうございました。

今回は、iセンタースタッフのほかに、真狩村さん、京極町さん、寿都町さんの参加をえて開催されました。



研修会：ワークショップ（13:30～）

歌才自然の家に会場を移し、研修会を開催しました。今回の研修会では、まず、「観光客に喜ばれるiセンターとなるためにスタッフ自らできることを考えよう」をテーマにワークショップを開催しました。A～Cの3つのグループに分かれた参加者らは、実験期間を通して感じた課題や問題点を整理しながら、これから取り組むべき大きな目標を考えました。結果はグループごとに発表しました。



研修会：技術講習会（15:50～）

ワークショップに続いて、魅力的な地域だよりを作成するための技術講習会を開催しました。ホームページワーキンググループの房間さんを講師に、地域だより作成の際の基本的な考え方や画像処理の方法についての講習を行いました。



i センターラリー抽選会（17:20～）

研修会に続いて、実験期間中実施した i センターラリーの抽選会を行いました。



懇親会（18:30～）

研修会終了後の懇親会では、黒松内町や道内の素材にこだわった料理を堪能しながら、大いに盛り上がりました。料理長さん、ありがとうございました。



町内見学（12日 9:30～）

2日目は、黒松内町のオートキャンプ場「ルピック」(右上)、プナセンター(左下)、トワ・ヴェール(右下)を見学しました。全ての施設で、担当者の方から説明をしていただきました。参加された皆さんが、黒松内町のまちづくりの方向性や概要を知る上でも充実した見学会でした。



意見交換会（ワークショップ）結果

意見交換会では、前回第1回と同様にA・B・Cの3つのグループに分かれ、各グループ6名程度でKJ法によるワークショップを実施しました。

各グループでは、自己紹介の後、リーダー、発表者を選出しました。リーダーの司会のもと、以下の2つテーマについて、普段スタッフが現場で感じていることをポストイットに記入していただき、それぞれ記入された現状課題や対処法について各々説明していただきました。



ワークショップによる意見交換

テーマ : 実験を通して感じたことを整理しよう

テーマ : スタッフ自らできることを考えよう

テーマ : 実験を通して感じたことを整理しよう

「実験を通して感じたことを整理しよう」では、i ネットとi センターそれぞれについて、良かった点、反省点について整理しました。

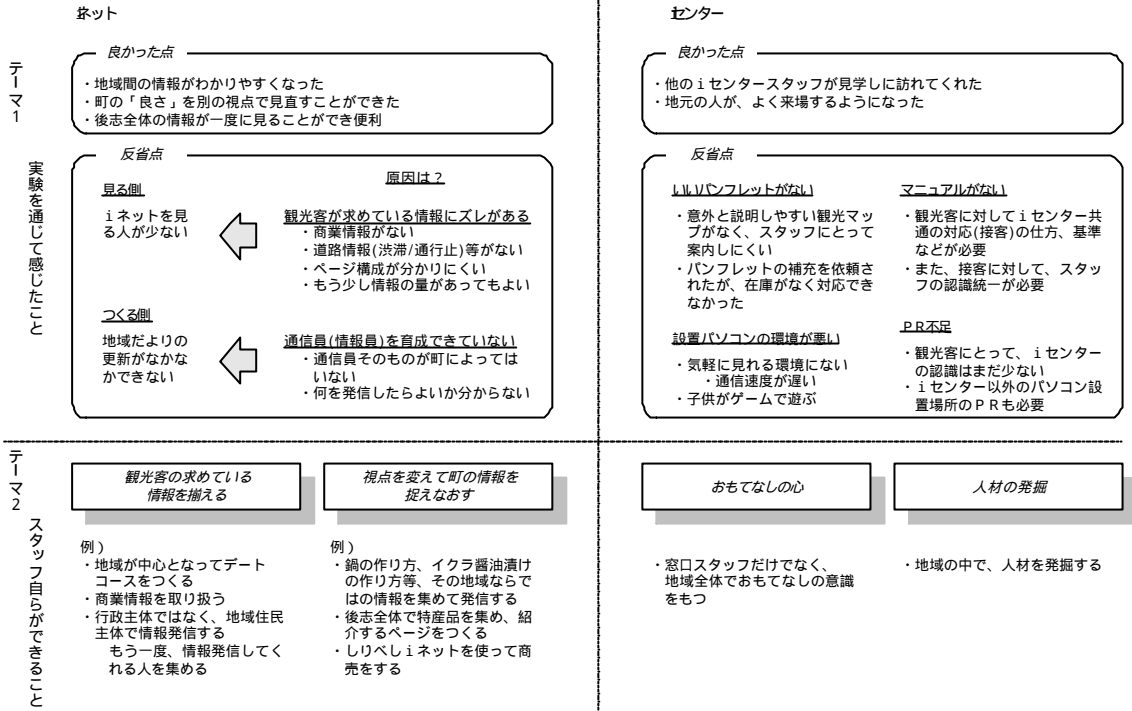
先ずi ネットの良かった点については、「後志を一体としてみるような認識が生まれた」「自分の住むマチの良さを別の視点で見直すきっかけとなった」といった意見があげられた反面、「観光客が本当に求めている情報と提供している情報にズレ（商業情報がない等）がある」「通信員（情報員）体制が構築されていないため地域だよりの更新がままならない」等の反省点があげられました。

一方、i センターについては、「スタッフの目線で現場（観光案内所や道の駅）を見る機会が増えた」「スタッフ間の連携が図られ電話での問い合わせもしやすくなった」など、i センターの開設によりスタッフの意識啓発やネットワーク機能が強化されたと評価されているものの、「利用する観光客や地域住民にとってi センターの認識はまだ少ない」等の反省点があげられました。

テーマ : スタッフ自らできることを考えよう

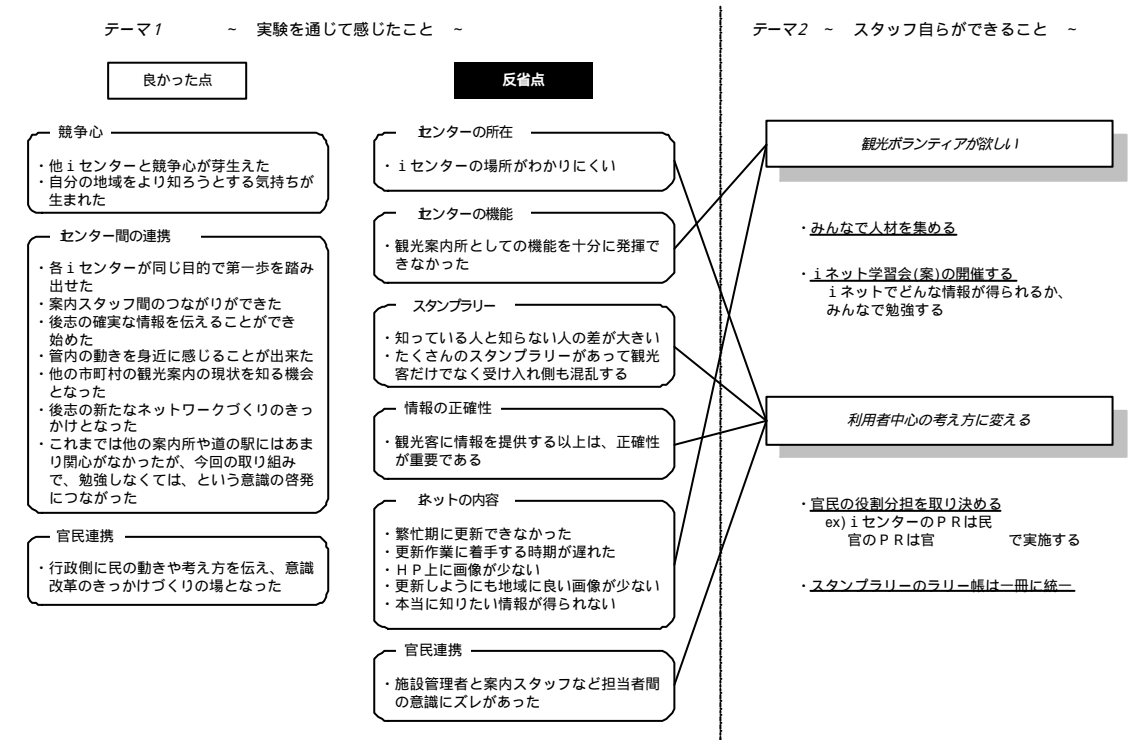
テーマ による議論を踏まえ、「スタッフ自らできることを考えよう」では、「みんなで情報提供をしてくれる人材を集める」「自らも旅行し情報収集を行う」など、「もっと自分の住む地域やマチを知ることからはじめる」ことや、i ネット・i センターを観光客や地域に知ってもらうために「住民説明会の開催」「i ネット学習会の開催」「商工会等のホームページにもi ネットのバナーをはってもらう」など、これから取り組むべき目標について様々なアイデアがあげられました。

A グループ



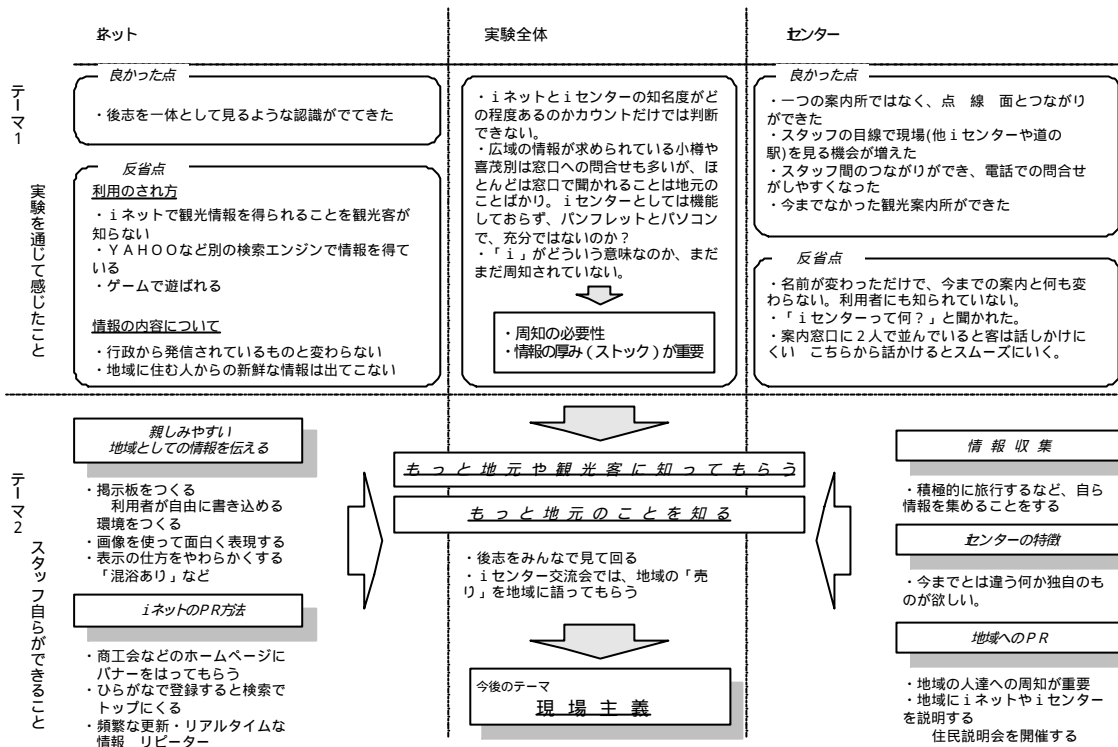
【各グループの取りまとめ内容 (Aグループ)】

B グループ



【各グループの取りまとめ内容 (Bグループ)】

③ グループ



【各グループの取りまとめ内容 (Cグループ)】